学校番号	2102

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合ａ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	家庭総合　ともに生きる　明日をつくる　（教育図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通じて学んだことを、自らの生活に活かしましょう。
・自分の生活における様々な現象や課題について興味を持って考え、家庭や地域の生活を向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族、福祉、消費と環境、食生活に関わる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭・地域生活の充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族、福祉、消費と環境、食生活などに関心を持ち、興味を持って考え、その充実向上のため、主体的に取り組む態度を見につけている。	人の一生と家族、福祉、消費と環境、食生活などに関心を持ち、興味を持って考え、その充実向上のための課題を見出し、解決のために思考を深め、工夫して取り組む能力を見につけている。	人の一生と家族、福祉、消費と環境、食生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族、福祉、消費と環境、食生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価　等	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価　等	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価 ・定期考査・実技テストの結果　等	・学習状況の観察（実習を含む） ・ワークシート等の記述 ・実習の記録 ・自己評価 ・定期考査・実技テストの結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	人生ってなんだろう？	○家庭総合aの学び方 ○人の一生はどうなっているのだろう ・人生の方向を考える ・ライフステージ ○青年期とはどんな時期？ ・自立と共生 ・人生における職業	○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:ライフステージに応じた生き方について関心を持ち、主体的に学習しようとしている。 b:自らの人生の方向を考え、課題を見出し、その解決法を考えることができる。 c:自らの自立のために何が必要か考え、職業選択について検討する技術を身につけている。 d:人の一生を自らのこととして捉え、授業を考えるための知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	家族ってなんだろう？ 社会はどう高齢化するのだろう？	○家族について考えてみよう ・家族の形 ○家族と社会とのかかわりは？ ・家族生活と社会の動き ・現代家族の問題点 ・家族・家庭は法律でどう決められているか ○人口の高齢化はなぜ起こるのか？ ○高齢期ってどういう時期？ ・高齢期について正しい知識を見につけよう ・地域福祉とは	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:４月に同じ b:４月に同じ c:家族と社会の関わりと家族に関する法律について理解し、自分の将来について検討する技術を身につけている。 d:家族についての法律について基礎的・基本的な知識を身につけている。 a:高齢期について正しく捉えようとする姿勢をもって学習に取り組んでいる。 b:人口の高齢化が起こることについて思考を深めることができる。 d:高齢期・高齢化について正しく理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査

6月	共生ってなんだろう？　暮らしとお金の関わりは？	○共生という価値観 ○共生社会の実現に向けて ・ノーマライゼーションの理念 ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ○経済からみた暮らし ・家庭経済とは？ ・家計と社会とのかかわり ・税金・社会保障費と家計 ○何をどうやって買う？ ・消費生活と社会のつながり ・契約で成り立つ消費生活 ・消費者問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：自分の生活を取り巻く環境や人間関係に関心を持ち、主体的に学習しようとしている。 b：普段の生活を振り返り、周囲の環境や他人との関わりについて考え、課題を見出すことができる。 c：自分のことだけではなく、他人と共感し、行動することができる技術を身につけている。 d：現代の暮らし方の成り立ちを理解し、共生社会の基盤となる考え方について基礎的・基本的な知識を身につけている。 a：家庭経済について関心を持ち、主体的に学習しようとしている。 b：生活の中での経済活動について考え、課題を見出すことができる。 c：消費生活を送る上で、自分に必要な情報を選択し、活用する技術を身につけている。 d：契約や消費者問題、悪質商法について理解し、賢い消費者としての基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
7月	食生活	○なぜ食べるの？ ・自分の食生活を振り返って ・現代の食生活の課題 ○何を食べるの？ ・五大栄養素と多く含む食品について ・食品の選び方と保存 ○調理実習 ・食品の安全（食中毒の予防・食品の管理） ・調理の基本	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：食生活と調理について関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b：自らの食生活について考え、課題を見出し、その課題解決の方法を考えることができる。 c：基本的な調理方法について理解し、正しく安全に配慮して実習する技術を身につけている。 d：食品の栄養、食品の安全について理解し、よりよい食生活を送るための基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
8月		前期期末考査						

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。